



# ゆづりは

堺市立図書館だより

第8巻 第4号 (通巻30号)

発行日 平成26年3月10日

編集・発行 堺市立中央図書館

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072(244)3811

Fax 072(244)3321

URL <http://www.lib-sakai.jp/>

## 赤ちゃん向けおはなし会など ～赤ちゃんの心と言葉を育むために～

図書館で、赤ちゃんや小さなお子さま（乳幼児）向けの行事を定期的に開催していることをご存じですか？赤ちゃんを持つ保護者の方は「まだ本を読めないし…」「静かに座って聞けるかな？」なんて、心配してしまうかもしれません、ハイハイで絵本に近づいて、じっくり見つめても、手を伸ばして触ってもらっても大歓迎。まずは、絵本や図書館に親しんでもらえたらと願い開催しています。

今回は、各図書館（人権ふれあいセンター図書ホール、青少年センター図書室を除く）で月に一度（梅分館、美木多分館は2ヶ月に一度）定期的に開催しているものの中から、2月に西図書館で開催した「赤ちゃんといっしょー親子のためのおはなし会」の様子をご紹介します。

保護者のお膝に抱っこされ温もりを感じてもらいながら、赤ちゃん絵本の読み聞かせや、手あそび、ふれあいあそびを体験してもらいました。おはなし会の前後には、読み聞かせボランティアのみなさんと参加者の交流タイムもあり、和やかな雰囲気の中で、赤ちゃんとのコミュニケーションのヒントを聞く姿も見られました。

おはなし会は毎回盛況で、参加希望者が多いため、2回に分けて実施しました。短い時間の会であっても、参加されたみなさんの笑顔が会場いっぱいに広がりました。

↓ 「わらべうたベビーマッサージ」  
講座の様子



他にも、2月14日には、東図書館で「わらべうたベビーマッサージ」講座を開催しました。講師は、わらべうたベビーマッサージふれあい遊び教室ころころぴっぴ主宰のひらよしまみさん。赤ちゃんもお母さんもにっこり、マッサージと交流を楽しまれていました。

赤ちゃん向け行事の開催日時等は、図書館ホームページやチラシでご案内しています。

### 図書館からのお知らせ

貸出カードは、0歳から無料で作れます。

0歳の赤ちゃんから楽しめる絵本を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」やハイハイもできる「じゅうたんコーナー」（初芝分館、美木多分館、青少年センター図書室を除く）、保護者向けに、育児や子育てに役立つ資料を集めた「子育て支援情報コーナー」もあります。また、お子さまの発達段階や興味に合わせた絵本の紹介もしていますので、ぜひ一度、お子さまといっしょにお近くの図書館へお立ち寄りください。



↑  
2月19日開催（西図書館）「赤ちゃんといっしょー親子のためのおはなし会」の様子



### 目次

赤ちゃん向けおはなし会など … 1  
～赤ちゃんの心と言葉を育むために～

堺の地域文化資料を電子 … 2  
図書館で初公開！

シリーズ堺の〇〇 大和橋 … 2

堺かるた いろはの「く」 … 3

この本で解決！？ … 3  
～昔の堺の学校について調べる～

司書のイチ押し！ … 4  
『坂本龍馬』の誕生  
船中ハ策と坂崎紫瀾』

堺市立図書館電話番号一覧 … 4

## ゆづりは とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに  
ゆづりゆづりて 譲り葉の  
ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報を伝えるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。



## 堺の地域文化資料を電子図書館で初公開！

### インターネットで

#### いつでもどこでも読める電子書籍一。

本市立図書館は、平成23年から電子書籍を導入し、図書館ホームページの電子図書館では、現在5,346点の電子書籍をお読みいただけます。

この1月には、図書館が所蔵する堺の地域文化資料を多くの方々に親しんでいただけるように、12冊を電子書籍化しました。堺を知るための／



とておきの1冊『むかしの堺』や絵で堺を紹介した『画集堺のくらし』、古墳や伝統産業、下水処理場の冊子、だんじり祭のパンフレットなど、より堺に親しんでいただける資料ばかりです。

貸出カードは不要で、堺市民でなくてもお読みいただけます。電子図書館のジャンル‘地域資料’を選んでください。

堺の地域文化資料を電子書籍でどうぞ！



### シリーズ 堀の〇〇

#### やまとばし 大和橋

大和橋は、堺市と大阪市の間を流れる大和川に架かる橋のうちの一つで、南海高野線と阪堺線の鉄道橋にはさまれた場所に位置します。

今では、ひっそりとしたたずまいを見せるこの橋ですが、昭和5年(1930年)に遠里小野橋が架けられるまで、堺以南と大阪を結ぶ交通の要所でした。

元々、堺と大阪は地続きでした。大和川は北に向かって流れ淀川に合流していたのですが、度々氾濫を繰り返したため、宝永元年(1704年)、今の位置に付け替えられることになりました。

大和橋は川の開削にあわせて工事が行われ、川の通水に先立って完成しました。橋の長さは70間(約140m)、幅3間(約6m)でした。この橋は、紀州街道が川を渡るところに架けられた重要な橋だったので、同じ街道筋で堺の環濠に架けられた北ノ橋、南ノ橋とともに公儀橋として、堺奉行が管理しました。

住吉大社の渡御祭では、大和橋は大舞台となりました。神輿をかついで、数百もの人々が手に手にたいまつを持って橋を渡り、その火は遠く兵庫や泉州海岸から見ることができ、「住吉の火替」として広く

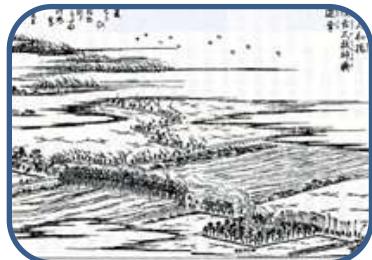
く知られていました。

明治になって、堺県によって国費を用いて架け替えられたあと、大正5年(1916年)には鉄橋化されました。現在の橋は昭和49年(1974年)に竣工したもので、長さ192m、幅9.5mの斜張橋となっています。

中央図書館では、橋の仕様書である文化3年(1806年)の「堺大和橋絵図」や明治時代の橋のようすを写した『堺大観』の写真などを所蔵しており、図書館ホームページのデジタル郷土資料展でご覧いただけます。



【現在の大和橋】



【堺大和橋住吉大祓神神輿還幸  
『摂津名所図会』より】

### 参考文献

『堺市史』第3巻 堀市／編集・発行

『大阪の橋』松村博／著 松籟社

『摂津名所図絵』第1巻 秋里 築島／著 臨川書店

『住吉大社』住吉大社／編 学生社

# 堺かるた - いろはの「く」

## 「苦勞して 市民がつくった 大浜灯台」

青い海と空を背景にそびえる白い六角錐の建物  
一堺旧港の入口に立つ旧堺燈台は、明治10年  
(1877)に完成しました。燈台の築造費は、当時  
のお金で2,125円20銭5厘を要しましたが、  
その多くは市民の寄付によるものでした。

旧堺燈台は、周辺の埋め立てが進んだ昭和43年  
(1968年)に、燈台としての役割を終えましたが、  
昭和47年(1972年)、現地に現存する日本最古の木造洋式燈台の一つとして国の文化財(史  
跡)に指定されました。

## この本で解決! ~昔の堺の学校について調べる~

堺の学校(教育)について、昔のことを調べたいというお問い合わせがありました。その中から3件ご紹介します。

Q. 昭和29年に泉陽高校が春夏連続で甲子園に出場していると思うが、それぞれの地区大会からの新聞記事を見たい。

A. 日付を特定するため、オンラインデータベースの朝日新聞社「蔵書Ⅱ」と毎日新聞社「毎索」を調べましたが、昭和29年の大阪本社版は収録されていませんでした。中央図書館に、この時期の朝日新聞・堺泉州版が原紙で保存されていますので確認したところ、4月6日に選抜高校野球準決勝で敗退の記事、7月21日から8月3日まで大阪予選の開幕から決勝までの記事を見つけることができました。

Q. 旧制中学校、高等女学校、実業学校などが行った修学旅行に関する記述がある資料を探している。

A. 中央図書館の地域資料で古い学校誌を調べたところ、いくつか修学旅行に関する記述を見つけました。

①『三丘八十年』大阪府立三国丘高等学校(1975年刊)に、明治期の第二尋常中学校時代の修学旅行について、1ページ分記載されています。

②『三丘百年』大阪府立三国丘高等学校(1995/



市  
民  
が  
つ  
く  
つ  
た

### 参考資料

『堺市史』、『むかしの堺』

### 参考Webサイト

当館ホームページ

「堺の風景 No.13 大浜の旧堺燈台」

「デジタル郷土資料展 旧堺燈台」

一大浜のきのう・きょう・あす一」

年刊)の59pに明治28年から明治33年まで、100pに明治34年から44年まで、212pに大正元年から13年までの修学旅行の日程や目的地、写真等が載っています。

③『茅渟の海』第20号 大阪府立堺中学校校友会(1907年刊)の10pに「修学旅行」という項目があり、月日・旅行地・引率者など簡単な説明文があります。

④『大阪府立農学校施設概況』大阪府立農学校(1935年刊)の55pと87pに日程と行先等の簡単な記述があります。

Q. 与謝野晶子の「君死にたまふことなけれ」に登場する弟である鳳籌三郎が堺中学校の出身かどうかわかるか。

A. 堀中学校は三国丘高等学校の前身なので、三国丘高校の学校誌等を調べたところ、『三丘百年』の75pに「与謝野晶子と、その弟籌三郎」という項があり、明治28年4月に入学した本校第一期生のうちで33年に卒業したのはわずか約21%で、その中の一人が鳳籌三郎であるとの記載があります。学校名は大阪府第二尋常中学校(明治28年)→大阪府立堺中学校(明治34年)→大阪府立三国丘高等学校(昭和23年)と変遷していますので、正確には、鳳籌三郎は大阪府立第二尋常中学校出身ということになります。

# 司書のイチ押し！

## 『「坂本龍馬」の誕生 船中八策と坂崎紫瀾』 知野 文哉／著



船中八策とは、慶應三年（1867年）、坂本龍馬により起草されたとされる国家構想。藩船の中で土佐藩参政・後藤象二郎に対し口頭で示し、それを同乗していた海援隊書記・長岡謙吉が筆記したとされます。内容は大政奉還をはじめ、議会開設、官制改革など八カ条からなります。

龍馬が単に倒幕だけを考えていたのではなく、その後の新政府体制を具体的に思い描いていたことを示し、その先見性とスケールの大きさを表すエピソードとして、小説やドラマにおいては終盤のクライマックスによく取り上げられます。

しかし、これほど重要な事柄でありながら、船中八策には長岡が筆記した原文も、写本も残っておらず、同時代の書簡や文書の中にもこのことに触れたものがないことから、その存在を疑問視する研究者もいました。

本書の狙いはその疑問を決定的なものとし、船中八策はなかったことを証明するとともに、このフィクションが作り上げられた経緯を詳細に解き明かしていくことにあります。

著者は専門の歴史研究者ではありませんが、少年のころから大の龍馬ファンで、人生の岐路では龍馬の影響をいつも受けていたといいます。そんな「龍馬好き」が高じて、別に仕事を持ちなが、日本近代史研究の第一人者である青山忠正氏に師事し、自ら龍馬研究に乗り出すことになるのです。そこには坂本龍馬という人物がほとんど歴史学の場に取り上げられることなく、学術的な研究がなされないままフィクションで描き出された姿だけが独り歩きし続けることに対する危機感があったと思われます。

本書において著者は、これまで龍馬研究の基礎資料とされていた文献についても「重箱の隅をつつく」ように矛盾を指摘し、批判的に検証を行います。極力フィクションを削ぎ落とし事実をのみ積み重ねた後の坂本龍馬を表出させたうえで、幕末史における

坂本龍馬の評価というものが改めてなされる必要があると考えているのでしょうか。

だからといって、これまで発表された小説やドラマについて、その価値を否定しているわけではありません。それらのフィクションによって、龍馬が好きになり、歴史に興味を持ち始めた人も多いはずです。なにより著者自身、『竜馬がゆく』の存在がなければ、ここまで坂本龍馬に熱中することはなく、このような大変な労作を世に送り出すことはなかったはずです。

（H）

### 関連図書

『汗血千里の駒』坂崎紫瀬／著

『新日本古典文学大系明治編 16 政治小説集 1』

所収 岩波書店

『検証・竜馬伝説』松浦 玲／著 論創社

『攘夷の幕末史』町田 明広／著 講談社現代新書

『司馬遼太郎が描かなかった幕末』

一坂 太郎／著 集英社新書

### 堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
青少年センター図書室	228-6331
ホームページ URL	<a href="http://www.lib-sakai.jp">http://www.lib-sakai.jp</a>
携帯ホームページ URL	<a href="http://www.lib-sakai.jp/m/">http://www.lib-sakai.jp/m/</a>